



ボックススタイルカメラ想定活用シーン ニューススタジオ

リモートカメラと共通プロトコルを持つボックスカメラを使用することで、限られたリソースでトラブルレスな運用を可能に。

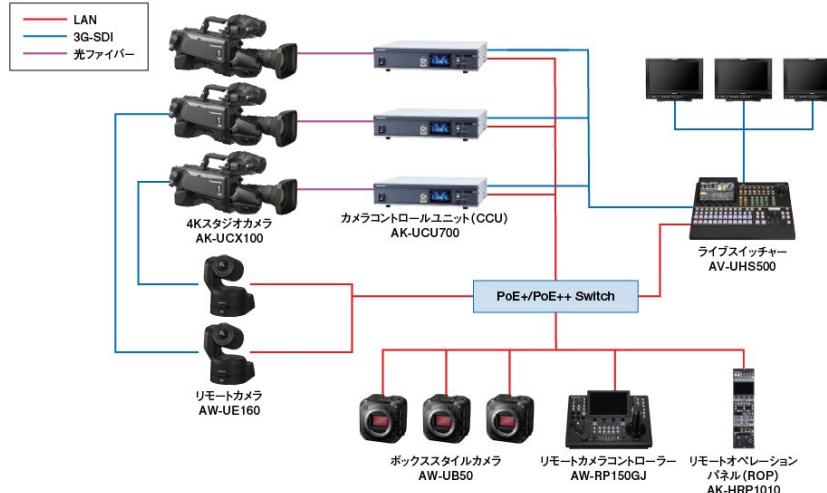
演出·效果

リモートカメラとボックススタイルカメラを適所に配置することで、スタジオカメラの台数を最低限に抑え、尚且つ効果的な作りを行なうことができる。

また対談などのシーンでは目立たないボックススタイルカメラを使用することで、話者の自然な表情を引き出すことができる。

そしてスタジオ内のすべてのカメラを同一 ROP で制御し、GENLOCKもかけることができる
のでトラブルの少ないシンプルなシステム設計が可能。

システム構成図



ボックススタイルカメラの
その他の想定活用例はこちら



[ボックススタイルカメラの
製品情報はこちら](#)



Panasonic

発行：2025年11月

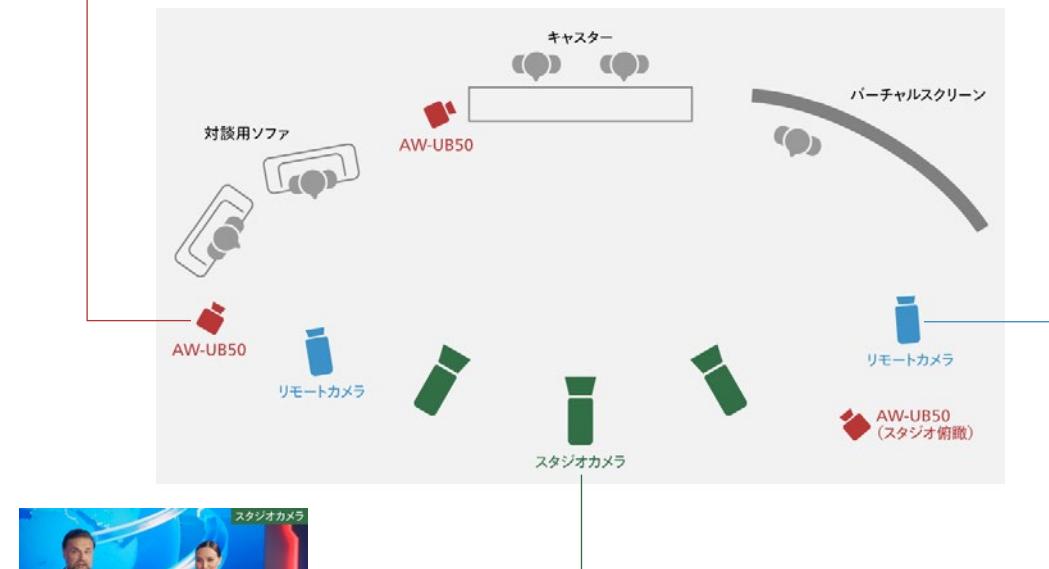
AW-UB50 + システムカメラ + リモートカメラ



機器設置イメージ



※画像はイメージです。



AW-UB50 x 3

キヤスター下手に1台、スタジオ俯瞰に1台、いずれもコーナーチェンジ時のブリッジカットに使用。対談シーンにも1台設置。



キャスター二人のアップで各1台、引きカットで1台の計3台。番組構成に応じて柔軟に配置変更。



バーチャルスクリーン前に1台、対談シーンに1台設置。